



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し

オセアニア・南極・北極セット 小学校高学年向 資料解題

この冊子は、学校図書館セット貸出しに含まれる本の解説です。
本の紹介、展示の作成や、学校図書館での選書などにご利用下さい。

No	書名	出版社	出版年	請求記号	関連国・地域
1	みんなの世界遺産 7 北アメリカ・南アメリカ・オセアニア	岩崎書店	2000	YU81-155	—
2	日本とのつながりで見えるアジア過去・現在・未来 7 オセアニア	岩崎書店	2003	Y2-N03-H70	—
3	クックの航海	評論社	1981	Y17-7522	—
4	世界の地理 図説大百科 23 オセアニア・南極	朝倉書店	2010	GA91-J60	—
5	国別大図解世界の地理 6 アフリカ・オセアニアの国	学研教育出版	2010	Y2-N10-J68	—
6	行ってみたいなあんな国こんな国 5 北米・オセアニア	岩崎書店	2010	Y2-N10-J105	—
7	オーストラリア(体験取材!世界の国ぐに 8)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H46	オーストラリア
8	ジス・イズ・オーストラリア	ブルース・インターアクションズ	2006	Y2-N07-H4	オーストラリア
9	ぼくの南極生活500日	フレーベル館	2006	Y11-N06-H586	南極
10	ニュージーランド(体験取材!世界の国ぐに 9)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H47	ニュージーランド
11	ミクロネシア連邦(体験取材!世界の国ぐに 10)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H48	ミクロネシア
12	楽園に降った死の灰: マーシャル諸島共和国	新日本出版社	2009	Y1-N09-J172	マーシャル諸島
13	アホウドリの糞でできた国: ナウル共和国物語	アスペクト	2005	GJ111-H10	ナウル
14	ツバル: 海拔1メートルの島国、その自然と暮らし	国土社	2004	GJ136-H1	ツバル
15	アボリジニ(写真で知る世界の少数民族・先住民族)	汐文社	2008	Y2-N08-J44	オーストラリア
16	マオリ(写真で知る世界の少数民族・先住民族)	汐文社	2008	Y2-N08-J90	ニュージーランド
17	ブタとサツマイモ: 自然のなかに生きるしくみ	小峰書店	2007	Y2-N08-J6	パプアニューギニア
18	元気が出る!世界の朝ごはん 4 オセアニアと南アメリカ	日本図書センター	2007	Y2-N07-H114	—
19	ペンギン図鑑	文溪堂	1997	Y11-M98-45	—
20	オセアニア(NHK生きもの地球紀行 7)	ポプラ社	2002	Y11-N02-220	—
21	オーストラリアケアンズ生き物図鑑	文一総合出版	2008	RA485-J1	オーストラリア
22	オールド・ブルー: 世界に1羽の母鳥	さ・え・ら書房	1999	Y11-N00-12	ニュージーランド
23	カンガルー(ちがいがわかる写真絵本シリーズ)	金の星社	2004	Y11-N04-H241	—
24	コアラ(ちがいがわかる写真絵本シリーズ)	金の星社	2007	Y11-N07-H220	—
25	オセアニアの鉄道	旺文社	2007	Y1-N07-H150	—
26	オセアニアの遊び	ポプラ社	1998	Y12-M98-229	—
27	ポリネシア・メラネシアのむかし話	借成社	2000	Y9-N04-H356	—
28	魔法使いのチョコレート・ケーキ	福音館書店	1984	Y8-1779	ニュージーランド
29	やまとゆきはら: 大和雪原: 白瀬南極探検隊	福音館書店	2002	Y2-N02-122	南極
30	北極・南極(冒険の科学)	ほるぷ出版	2006	Y11-N06-H267	南極・北極
31	南極・北極(Insiders)	昭文社	2009	M85-J7	南極・北極
32	Herbert: the brave sea dog(英語)	Molly Paul Books	2008	Y17-B12039	ニュージーランド
33	Kiwi moon(英語)	Random House New Zealand	2008	Y17-B10516	ニュージーランド
34	My brown bear Barney(英語)(わたしのバーニーいつもいっしょ)	Reed Children's Books	1994	Y17-B9054	ニュージーランド
35	わたしのバーニーいつもいっしょ	のら書店	1997	Y18-12841	ニュージーランド
36	Bush babies(英語)	Lothian	2003	Y17-B12904	オーストラリア
37	Lizzie nonsense(英語)(ゆめみるリジー)	Little Hare	2004	Y17-B11232	オーストラリア
38	ゆめみるリジー	アールアイシー出版	2007	Y18-N08-J76	オーストラリア
39	Possum and wattle(英語)	Little Hare	2008	Y17-B12036	オーストラリア
40	The shack that Dad built(英語)	Little Hare	2004	Y17-B4222	オーストラリア
41	Snake and Lizard(英語)(ヘビとトカゲきょうからともたち)	Gecko Press	2007	Y8-B8454	ニュージーランド
42	ヘビとトカゲきょうからともたち	アリス館	2011	Y9-N11-J182	ニュージーランド
43	Imagine(英語)(どうぶつがいっぱい!)	Allen & Unwin	2007	Y17-B9184	オーストラリア
44	どうぶつがいっぱい!	河合楽器製作所・出版事業部	1995	Y18-10515	オーストラリア



総合学習に役立つみんなの世界遺産7 北アメリカ・南アメリカ・オセアニア

城戸一夫 監修；倉部きよたか 著

岩崎書店 2000年

オセアニア等の世界遺産をカラー写真で紹介する本。日本列島がすっぽり入る世界最大のサンゴ礁グレート・バリア・リーフは、美しい海が印象的。トンガリロ国立公園はマオリ族の独特の世界を見せる。世界遺産ごとの解説のほか、参考図書や関連文献が掲載されている。見返しに世界遺産の場所を示した地図と巻末に国別の世界遺産リスト付。

オセアニア（日本とのつながりで見るとアジア過去・現在・未来；第7巻）

石出法太 著

岩崎書店 2003年

最初にオセアニア地域全体について解説し、続いてオーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガなどオセアニアの14の国の歴史と現状について解説する。文化、貿易、歴史などであまり知られていない日本とのつながりを重視した記述となっているため、日本とこれらの国々との関わりがわかりやすい。巻末に各国のデータと索引付。

クックの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵；ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文；吉田悟郎 訳

評論社 1981年

「キャプテン・クック」として知られる、18世紀のイギリス人探検家クックの3度にわたる南半球航海記の大判絵本。最初の航海は、タヒチ島で金星を観測するのが目的だったが、これは表向きの理由で、イギリスは未知の大陸発見を期待していた。3度の航海で新大陸は見つかったのか。最初に航海したエンデヴァ号の断面図やオーストラリアの動物、マオリの船などを緻密な絵で紹介する。見返しに航路図あり。

世界の地理：図説大百科 23 オセアニア・南極

田辺裕 監修

朝倉書店 2010年

多彩な専門家たちによる分担執筆の本。索引、用語解説付きで調べ学習にも向く。内容は、オセアニアの全ての国の情報や、南極を含む地域の自然環境、産業、民族文化、政治問題など多岐にわたり、写真や図版も多い。太平洋の多数の島名も載っている。

アフリカ・オセアニアの国々（国別大図解世界の地理. 6）

井田仁康 監修

学研教育出版 2010年

オセアニアの国々について、首都、人口などの基本データとともに自然や産業などの概要をカラー写真や図を用いて、簡潔に紹介する。オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、ツバルとフィジー諸島を掲載。巻頭に地図と基本データ一覧があり、各国を比較できる。

行ってみたいなあんな国こんな国5 北米/オセアニア

東菜奈 作

岩崎書店 2010年

オセアニアの自然や風俗、特産品などを、旅行会社で添乗員として勤務した経験のある絵本作家が絵で紹介する。人口、面積、気候などのデータも掲載。フィジーの海、ニュージーランドの動物やマオリの彫刻、パプアニューギニアの鳥の羽の民族衣装などが親しみやすいイラストで描かれる。各国に興味をもつきっかけとなるだろう。

ジス・イズ・オーストラリア

ミロスラフ・サセック 著；松浦弥太郎 訳

ブルース・インターアクションズ 2006年

世界の都市を旅して描いた「ジス・イズ」シリーズの1冊。大都市シドニーから最北に位置する開拓民の街ダーウィンまで、オーストラリアの街々を案内。シドニーのオペラハウスといった有名な建物はもちろん、カンガルー注意の看板など街の様子をしゃれた絵で紹介し、各地を実際に旅している気分になる。原書は1970年刊行だが、巻末で現在の情報が補われている。

ぼくの南極生活 500日：ある新聞カメラマンの南極体験記

武田剛 著

フレーベル館 2006年

南極観測隊に同行した新聞カメラマンの記録。美しいオーロラや愛らしいペンギンの写真は印象的。昭和基地内のスナップは生活に密着し、隊員の暮らしぶりがよく伝わる。一日中暗い冬に不平を言いながらも昔の基地よりましとの記述や、お金がいないエピソードなど文には実感がこもり、読みやすい。南極のゴミ問題にも言及する。巻末に年表付。

オーストラリア（体験取材！世界の国ぐに8）

吉田忠正 文・写真；藤川隆男 監修

ポプラ社 2006年

オーストラリアをあらゆる角度から紹介する。広い敷地の住居、週末のバーベキュー、マリンスポーツ、働く人々、交通、学校、多民族・多文化、先住民アボリジニの生活等が豊富な写真と共にまとめられ読みやすい。レポートの項では「60万人が参加するゴミ拾い運動」など、現地情報を届ける。巻末に国の歴史と日本との交流、基本データ、索引付。

ニュージーランド（体験取材！世界の国ぐに9）

岡崎務 文・写真

ポプラ社 2006年

ニュージーランドの国と生活をわかりやすくまとめた本。火山や氷河が広がる雄大な自然、マオリの文化、羊や牛と大地の恵みを受けた産業、スポーツ、都会と地方のくらしなど、豊富な写真とともに紹介する。読書教育が盛んで、学校によっては、校長先生が指導する読書の時間がある。国の歴史や日本との交流史も掲載。巻末にデータ・索引付。

ミクロネシア連邦（体験取材！世界の国ぐに10）

岡崎務 文・写真；在日ミクロネシア連邦大使館 監修

ポプラ社 2006年

太平洋に浮かぶ600以上の島々、ミクロネシア連邦を豊富な写真で伝える。4つの州が一緒になった連邦国で州ごとに言葉や文化が違う。各州とも小学校は8年間の義務教育で、共通語として英語を学ぶ。パンノキの実で作るモチとドーナツが並ぶ店頭、石のお金（石貨）とアメリカドル紙幣、伝統農業によるタロイモ・ヤムイモの栽培と、農薬や人口肥料を使うナスの栽培など、この国では伝統と現代が交差している。巻末に歴史と基本データ、索引付。

楽園に降った死の灰：マーシャル諸島共和国（シリーズ核汚染の地球. 1）

森住卓 文・写真

新日本出版社 2009年

太平洋の島国マーシャル諸島は、1954年にアメリカが行ったビキニ環礁での水爆実験により、放射能を含んだ砂や埃「死の灰」を浴びた。この本では、島の美しい自然と日常生活の様子を伝える写真とともに、半世紀以上たった今でも多くの島民を苦しめる放射能汚染について分かりやすく説明する。見返りに地図付。

アホウドリの糞でできた国：ナウル共和国物語

古田靖 文；寄藤文平 絵

アスペクト 2005年

太平洋に浮かぶナウルは、サンゴ礁に集まったアホウドリの糞が堆積してできた島国である。糞は、長い時間をかけてリン鉱石に変化する。そのリン鉱石の産出で「世界で最も豊かな国」といわれたナウルは、資源が枯渇し、銀行経営も失敗し、財政は破綻した。働き方を忘れた人々は、「普通」の生活を模索している。ルビ入りの軽妙な文と漫画風のイラストで綴られ、子どもにも読みやすい。中ほどでは写真で見所も紹介する。

ツバル：海拔1メートルの島国、その自然と暮らし：写真絵本

遠藤秀一 写真・文

国土社 2004年

海と深く関わるツバルの人の日常生活を美しい写真とともに紹介する写真絵本。著者は南の島国をフィールドとする写真家。「朝」「食糧」など項目を7つ立て、「被害」の項では、地球温暖化による海面上昇による被害の写真を載せる。巻末の「ツバルを通して僕らの未来を考えよう」では、地球温暖化を地球全体の問題として考察する。観光案内、データ、歴史年表付。

アボリジニ（写真で知る世界の少数民族・先住民族）

ダイアナ・マルシェル 著；藤村奈緒美 訳

汐文社 2008年

アボリジニとは、オーストラリアに5万年前から住んでいた民族である。彼らは、ブーメランで狩りをし、大地は祖先の精霊と繋がり、自分たちを自然の一部と考えている。この本では、先住民の中で伝統的な生活をする人々の生活を写真とわかりやすい言葉で説明する。

マオリ（写真で知る世界の少数民族・先住民族）

レスリー・シュトゥラドゥヴィク 著；斉藤慎子 訳

汐文社 2008年

マオリ族とはニュージーランドの先住民族である。彼らのマナ（威信）やタブ（英語のタブー）等の社会の掟をわかりやすく説明し、ハカ（おどり）や彫刻や民族衣装等の文化も紹介する。マオリ文化を守るための取り組みや現在の問題点にも触れる。彼らは「ほろびゆく民族」と呼ばれたが、1987年にマオリ語が英語とともにニュージーランドの公用語になった。

ブタとサツマイモ：自然のなかに生きるしくみ

梅崎昌裕 著

小峰書店 2007年

体力自慢の人類生態学の研究者が、南太平洋の国パプアニューギニアで自給自足する人々を訪ねた記録を児童向けに書いた読み物。人々はブタを使って交渉し、何種類ものサツマイモを栽培する。一見、文明社会から見ると非合理的なことも、相手の社会を理解するにつれ合理性が見えてくる。「相手を理解できないときは、自分に感受性がない。」と説く著者の言葉は、多文化理解の原点を考えさせる。

元気が出る！世界の朝ごはん4（オセアニアと南アメリカ）

服部幸應，服部津貴子 監修

日本図書センター 2007年

朝ごはんを通じて世界の食文化と朝食の大切さを紹介するシリーズの4巻目。オーストラリア定番の朝食は「トーストにベジマイト」で、野菜エキスを発酵させたベジマイトをパンに塗って食べる。ニュージーランドからは野菜のキッシュ、サモアからはカカオポリッジが紹介されている。作り方も

載っているので挑戦してほしい。シリーズの総索引付。

ペンギン図鑑

上田一生 著；福武忍 画；鎌倉文也 写真
文溪堂 1997年

ペンギン 18 種類を豊富な写真と精緻なイラストで紹介する図鑑。ペンギンは南極の氷上だけではなく、オセアニア地域の岩場や森、南米の砂漠にも住んでいることがわかる。最新の研究や生態も解説する。同じペンギンでも生後 2～3 週間後、一年後、成鳥と外見が変化する事も注目したい。ペンギン繁殖カレンダー、ペンギン用語ミニ辞典と索引付。

オセアニア (NHK 生きもの地球紀行 7)

増井光子 監修
ポプラ社 2002年

NHK が取材したドキュメンタリー番組から、オセアニアに生息する珍しい動物の暮らしや子育ての様子を紹介する。ユーカリしか食べないコアラ、しっぽに秘密があるワラビー、森で子育てをするペンギン、水陸両用のカモノハシ、飛べない大鳥ヒクイドリ、動物の身体や食べ物をクイズにして紹介すると面白い。

オーストラリアケアンズ生き物図鑑

松井淳 著
文一総合出版 2008年

オーストラリア北東部ケアンズで動物観察ツアーガイド歴 10 年の著者が書いた生き物の図鑑。ケアンズには、世界最古の熱帯雨林とグレートバリアリーフがある。昆虫、は虫類、両生類、鳥類、哺乳類の順で構成。鳴き声や日本の生物との比較、雄雌の見分け方も解説されており、実際に現地で観察したくなる。参考文献、用語集、英名・和名索引付。

オールド・ブルー：世界に 1 羽の母鳥

メアリ・テイラー 作；百々佑利子 訳
さ・え・ら書房 1999年

ニュージーランド本島から東に 1000 キロのチャタム諸島に、世界でここだけに生息する黒い小鳥ブラックロビンがいた。この絵本は、絶滅の危機にさらされ、ブルーと名づけられたブラックロビンの母鳥とひなを救うために力を尽くした人々の記録である。絵は緻密で、落ち着いた色彩が美しい。1970 年代にブルーを含め 7 羽しかいなかったロビンは、100 羽まで増えた。

カンガルー (ちがいがわかる写真絵本シリーズ：どうぶつの赤ちゃん)

増井光子 監修
金の星社 2004年

オーストラリア全域に生息する有袋類最大の動物、カンガルー。そのカンガルーの子育てを、大きな写真と平易な文章で紹介した写真絵本。母親のおなかの袋は、カンガルーの赤ちゃんにとって万能の保育器であり、袋の外に出られるほど育っても危険を感じた時には戻る避難所でもある。カンガルーの親子の写真からは、人間の親子と同じ愛情を感じることもできる。

コアラ (ちがいがわかる写真絵本シリーズ：どうぶつの赤ちゃん)

増井光子 監修
金の星社 2007年

オーストラリア東部にだけ生育するコアラ。母親のおなかの袋で赤ちゃんが育つ様子を中心に、大きな写真と平易な文章で、コアラの生態を紹介した本。コアラのおなかの袋がぼっこりふくらんでいるの

は、ユーカリの硬い葉を消化する長い腸が入っているから、鳴き声は「ブオッ、ブオッ」など、意外に知らないコアラの生態を知ることができる。

オセアニアの鉄道：オーストラリアの鉄道ニュージーランドの鉄道

秋山芳弘 著；こどもくらぶ 編

旺文社 2007年

鉄道を通じてその国を知るシリーズの一冊。鉄道は、その土地の自然や社会、文化に密接に結びつく。オーストラリア大陸の南北 1,559km を 19 時間かけて縦断する長距離旅客列車「ザ・ガン」の体験記を読むと実際に乗車している気分になる。ニュージーランドの長距離旅客列車では、海岸や峡谷、断崖絶壁など大自然の風景が楽しめる。鉄道関係の用語解説・索引付。

オセアニアの遊び（国際理解にやくだつ世界の遊び7）

大貫美佐子 監修

ポプラ社 1998年

子どもたちにとって身近な遊びを国ごとに紹介するシリーズの一冊。遊び方が図解されており、ルールの説明も詳しい。ニュージーランドのケンパ遊び「ホップスコッチ」や草のつるを使うソロモン諸島のあやとり「タビ」など、日本の遊びと似た遊びも紹介されている。実際に遊んでみるのも、国際理解を深める上でおもしろい。

ポリネシア・メラネシアのむかし話：海の少女ヒナほか

ダイクストラ好子 編訳

偕成社 2000年

西太平洋のポリネシアの島々とオーストラリア北東のメラネシアの島々に伝わる 16 編のお話を収載した昔話集。島なので海にまつわる話が多い。また、食べ物や風習の描写からは、南の島の生活や道徳などが読み取れる。現在のソロモン諸島の『海の始まり』は現地の言葉を使った描写もあり、3 分ほどの短い話なので、授業の導入に使うこともできる。

魔法使いのチョコレート・ケーキ：マーガレット・マーヒーお話集

マーガレット・マーヒー 作；シャーリー・ヒューズ 画；石井桃子 訳

福音館書店 1984年

ニュージーランドの作家で国際アンデルセン賞（2006年作家賞）受賞者でもある著者の短編集。美味しいチョコレート・ケーキを作る魔法使いが、子どもたちに食べさせたいと招待状を出す表題作の他、幽霊屋敷に肝試しに行く男の子の話『幽霊をさがす』など、子どもが主人公で魔法が日常に溶け込む不思議なお話 8 編と 2 編の詩を紹介する。

やまとゆきはら：大和雪原：白瀬南極探検隊

関屋敏隆 さく

福音館書店 2002年

百年前の明治時代に南極観測船「開南丸」^{かいなんまる}で出発した白瀬のぶ等南極探検隊の足跡を描いた絵本。29 頭の犬が半年の航海で 1 頭になったことや、厳寒の南極大陸を犬ぞりで進む様子など、当時の航海と南極観測の壮絶さが表れている。布地版画で描かれた輪郭のはっきりした絵は、力強く大和雪原を描き出す。帰国後の白瀬や隊員らの様子も紹介されている。あとがきと解説、参考文献もあり。

北極・南極（冒険の科学）

ピーター・D.ライリー 著；金子美智雄 監修；バベル 訳

ほるぷ出版 2006年

マイナス 50 度の世界、南極・北極で生き抜くための科学的知識とその知識を確かめる理科実験を紹介する科学読み物。極地が寒い理由の一つに、極地の白い雪が太陽からの熱を反射することがある。

それを確かめるために、白と黒の厚紙を用いた熱の反射実験を行う。他の実験も身近な材料でできるものなので、実際に試してみしてほしい。索引、用語集付。

南極・北極 (Insiders)

ロザリン・ウェイド 著；河島美季 訳

昭文社 2009年

南極・北極の環境と、極地に生きる動物たちの生態を知ることができる図鑑。命がけの極地探検の歴史や極地に迫る環境破壊も描く。水面下の冰山やシロイルカの頭部の内面など精緻で大判の迫力あるイラストは、興味を引く。動物の大きさを10歳の少年と比較し、例えを使って説明するなど、子どもを意識した構成である。専門用語解説や索引付。

Herbert : the brave sea dog (英語)

ハーバート：勇敢な海の犬*

Robyn Belton.

Molly Paul Books 2008年

この絵本は、事実を元に作られている。小さな犬ハーバートは、飼い主の男の子ティムの父親と一緒に船に乗ったが、途中で嵐に遭い、ハーバートは船から落ちた。翌日、ティムは父親に頼み、漁師と共にハーバートを探し出す。嵐の海を泳ぎ続けたハーバートは、勇敢な犬としてメダルを受賞した。ラジオでこの話が流れると、ニュージーランド中で話題になった。表紙裏には、ティムや全国から感動の手紙の写真が掲載されている。

*タイトルは参考訳です。

Kiwi moon (英語)

キウイ・ムーン*

Gavin Bishop.

Random House New Zealand 2008年

月をお母さんだと思った白いキウイの子は、山火事の時に月に助けられ空へ行く。月が疲れたときに代わりに満月 (Kiwi moon) になった。白いキウイと月の幻想的な絵の一部に、入植当時のニュージーランドの先住民の暮らしや入植者との戦いも描かれている。2006年にラッセル・クラーク賞 (ニュージーランドの絵本賞) を受賞。

*タイトルは参考訳です。

My brown bear Barney

Dorothy Butler ,illustrated by Elizabeth Fuller.

Reed Children's Books 1994年

わたしのバーニーいつもいっしょ

ドロシー・バトラー さく；エリザベス・フラー え；ももゆりこ やく

のら書店 1997年

クマのぬいぐるみのバーニーといつも一緒にいる小さな女の子の日常が描かれる。ぬいぐるみの質感まで伝わる温かみのある絵からは、ニュージーランドの一般家庭の様子もわかる。作者のドロシー・バトラーは、ニュージーランドの児童文学者。児童書専門店を開き、母親を対象とした読書教育を行う。重度障害をもつ孫娘と絵本の関わりを書いた『クシュラの奇跡』は、エリナー・ファージョン賞 (1980年度)を受賞。

Bush Babies (英語)

ブッシュ・ベイビーズ

Kim Dale

Thomas C. Lothian Pty Ltd 2003年

オーストラリアに住む野生動物の赤ちゃんを紹介した知識絵本。コアラやエミューなど、オーストラリア特有の動物 15 種類を取り上げる。各頁に動物をイメージした英語詩が付いている。精密な絵で、折り込みページになっているので、ヒントを出して、動物当てクイズをしても面白いだろう。巻末に、動物の説明付。2004 年オーストラリア児童図書賞ノンフィクション部門ショートリスト選出。
*タイトルは参考訳です。

Lizzie Nonsense (英語)

Jan Ormerod. ;

Little Hare 2004 年

ゆめみるリジー

ジャン・オーメロッド 作・絵 ; はやかかわゆか 訳

アールアイシー出版 2007 年

オーストラリア開拓時代の家族の生活を描いた創作絵本。森の奥の小さな家に住んでいる女の子リジーは、お父さんが仕事でいない間、お母さんと赤ちゃんの 3 人で暮らしている。夢見がちなリジーに、お母さんはあきれ顔。暖かみのある色彩で、森での生活をやさしく描く。2006 年国際児童図書評議会オナーリスト作品。

Possum and wattle : my big book of Australian words (英語)

ポッサムとワトル : オーストラリアの言葉の本*

Bronwyn Bancroft

Little Hare 2008 年

オーストラリア特有の動物や伝統的な道具など表す言葉を、先住民族 (アボリジニ) の中でも聖地を守るバンジャラン族の画家の絵とともに紹介した絵本。言葉の多くは bat (コウモリ) など英語だが、boomerangs (ブーメラン) などアボリジニに由来する言葉も含まれている。黒いはっきりした輪郭と点や丸で描かれた色鮮やかな絵は力強く、全ての物に精霊が宿ると考えるアボリジニの文化を感じることができる。

*タイトルは参考訳です。

The Shack that Dad Built (英語)

父さんが建てたブリキ小屋*

Elaine Russell

Little Hare Books 2004 年

1940 年代半ば、アボリジニである著者エレインが 5 歳の時、彼女と家族は、アボリジニ定住区を避けて、シドニー近郊の浜辺ラペルーズへ引っ越した。父親は、浜辺の横にゴミ捨て場から拾ってきたブリキで小屋を作り、家族はそこで 5 年間を過ごした。色鮮やかな絵は、当時のオーストラリア西部に住むアボリジニたちの様子をよく伝える。

*タイトルは参考訳です。

ヘビとトカゲきょうからともだち

ジョイ・カウリー 作 ; ガヴィン・ビショップ 絵 ; もりうちすみこ 訳

アリス館 2011 年

Snake and Lizard (英語)

Joy Cowley, Gavin Bishop

Gecko Press 2007 年

おだやかな性格のヘビと元気一杯なトカゲが、ケンカをしながらも互いの違いを理解し、友情を育んでゆく物語。Joy Cowley はニュージーランドの女性作家で、絵本も描く。登場人物の性格まで分かるような魅力的な挿絵も楽しい。一話一話は短いので英語での読み聞かせに挑戦してもよいだろう。2008 年ニュージーランド・ポスト児童図書部門年間最優秀賞作品。

Imagine (英語)

Alison Lester

Allen & Unwin 2007年

どうぶつがいっぱい!

アリソン・レスター 作；岡部史 訳

河合楽器製作所・出版事業部 1995年

「もしここがジャングルだったら」と想像すると、次ページにジャングルとそこに住む動物が描かれている楽しい絵本。200種類以上の動物が細かく描かれており、余白に描かれた動物の名前が出ていたので、探すのも楽しい。森のページでは、オセアニアの動物が登場する。作者は、オーストラリア南東部の農場で生まれ、動物に囲まれて育つ。25冊もの絵本を出版し、本書をはじめ、各国語に訳され世界中で読まれている。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>